

【樹木の部屋】

サクランボ（バラ科サクラ属 *Cerasus avium*）

和名：オウトウ(桜桃) **別名**：ミザクラ(実桜) **英名**：Cherry

バラ目 落葉低木 **原産地**：ヨーロッパ、アジア

花言葉：小さな恋人、上品、幼い心、善良な教育 **花色**：白



← 写真-1 サクランボの果実

撮影日：2021年4月10日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-2 サクランボの花

撮影日：2021年3月3日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 サクランボ

撮影日：2021年4月29日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん





↑ 写真-5 サクランボの樹肌

撮影日：2021 年 4 月 29 日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↓ 写真-4 サクランボの葉

撮影日：2021 年 4 月 29 日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



サクランボは「桜桃 (オウトウ)」や「実桜 (ミザクラ)」とも呼ばれている植物で、花後に真っ赤な実をつけるのが特徴です。落葉性の低木で、人工授粉をすれば 1 本でも結実するため、家庭菜園でも育てられます。

木を桜桃、果実をサクランボと呼び分ける場合もあるそうで、生産者は桜桃と呼ぶことが多く、店頭に並んだものはサクランボと呼ばれるそうです。サクランボは、桜の実という意味の「桜の坊」という言葉からと考えられているそうです。

一般にサクランボといえばカンカ(甘果)オウトウを指しますが、自家不結実性で、異品種の混植が必要です。他にサンカ(酸果)オウトウ、中国オウトウ、ユスラウメがあります。サンカ(酸果)オウトウは酸味があり、自家結実性で比較的栽培しやすく、家庭向きですが、あまり広まっていないそうです。中国オウトウは、園芸店では暖地桜桃(だんちおうとう)の名前で流通しているそうです。小ぶりの果実ですが、栽培も比較的容易で、1 本だけでもよく結実するため、家庭向きだそうです。ユスラウメは、栽培はごく容易ですが、赤実と白実があるくらいで、品種名のついたものはないそうです。

サクランボの開花時期は 4 月で、花後 2 週間～3 週間ほどで、まん丸に膨らんだかわいらしい実をつけます。実がついてから 1 カ月ほどで真っ赤に色付き、5 月下旬～6 月下旬が収穫適期です。サクランボは、開花時期にピンク色の花を咲かせるサクラとは違い、白い花が固まって咲くのが特徴だそうです。初夏に入ると、甘酸っぱくておいしいサクランボをたくさん食べられる「サクランボ狩り」も楽しめます。

佐藤錦はサクランボの中でも代表的な品種で、果肉がやや硬めで甘みが強いのが

特徴です。粒の大きさが揃った佐藤錦は、高級品として贈答用にも利用されています。山形県が原産で「黄玉」と「ナポレオン」と掛け合わせて作られた品種です。

サクランボは、休眠期にあたる12月下旬～3月上旬に苗木を植え付けますが、サクランボは種から育てると発芽率が低く、実になるまでに時間がかかるそうです。

* 剪定

サクランボの木の剪定は、2月～3月頃、5月、7月の年に3回行います。冬になると休眠期に入るため成長が止まり、一般的には、この休眠期に剪定を行うことが多いようですが、寒さで枯れる恐れがあるため2月ごろまで待つと良いそうです。

2月～3月頃の剪定は、混み合った枝、下向きや内向きに伸びている枝など不要な枝を切り落として間引く程度にとどめておきます。サクランボの木は乾燥に弱いので、切り口には癒合剤を塗っておくと良いそうです。また、癒合剤を塗ることで、乾燥を防ぐだけではなく病気を予防することもできます。

5月は成長期のため、新梢の成長が早く、木全体の日当たりを悪くしてしまうため優先的に剪定します。主枝の後ろのほうから生えている新梢を、葉が3～5枚ほど残る位置で切り、それ以外の新梢は、切り落としていきます。古い枝は、実や花がつかないためそのまま残しておいても構わないそうです。

7月は、再び伸びた新梢を剪定して樹高を抑えていきます。2月～3月の剪定の時と同様に、下向きや内向きに伸びた枝は優先して切り落とします。全体の枝葉に日光が当たるようにすることが大事だそうです。

一方、剪定をきちんと行っても、サクランボの木は基本的にほかの品種と人工授粉しなければ実が付きません。より多くの実を収穫したい方は、人工授粉を行うと良いそうです。

人工授粉するには、最低でも1本は違う品種のサクランボの木を育てる必要があります。スペースの関係で複数のサクランボの木を育てるのが難しい場合は、別品種の花粉を購入することも可能です。または、1本で実になる「暖地桜桃」という品種を育てるという方法もありますが、別品種のサクランボの木を育てる場合は、相性を考えて選ぶ必要があります。

< ちょっと一言 >

* 相性のよい品種例

現在育てている品種が「紅秀峰」なら「佐藤錦」「紅きらり」
「佐藤錦」なら「紅秀峰」または「高砂」
「ナポレオン」なら「紅さやか」や「南陽」
などが良いそうです。

* 授粉方法には、下記の方法があります。

- ・鉢植えの場合、耳かきなどの先端についているボンテンを利用して相性のよい品種の花粉を採取し、結実させたい花の雌蕊に付着させる。
- ・庭植えの場合は、大きめの毛バタキを使って広範囲に花粉を行き渡らせる。